



「尼崎市立大島小学校」の学校図書館をたずねました。

大島小学校の田中千恵先生にお話しを聞きました。田中先生は図書館のことを専門に勉強し、図書館司書ししょという資格を持ち、「言語力向上事業指導補助員」として大島小学校で働いています。尼崎には43小学校のうち10小学校に田中先生のような人がいます。田中先生は平成21年に大島小学校にられました。それまでの図書館は暗いイメージで、あいている時間も少なかったので図書館に来る人はあまりいませんでした。そこで田中先生は図書館のお手伝いを保護者や地域の人たちにお願ひし、図書ボランティア(現在26人)として参加していただき、一緒に手作りでのいろいろな工夫をしました。すると、子どもたちが楽しく集える明るい図書館となり、たくさん子どもたちが、休み時間や放課後に来るようになりました。

小学校では、毎週1時限「図書」の時間がありますが、大島小学校では読み聞かせや新しい本の説明、図書クイズなどが行われ、子どもたちが本に親しむ機会を増やすような努力をしています。また、図書館も週5日間朝8時半から放課後4時まで利用することができます。明るくよみがえった図書館にたくさん子どもたちが集まるようになり、たくさん本と出会うことで、先生方や保護者のみなさんから、「落ち着いて学習に取り組む態度が育つ」「きまりや約束を守れるようになる」「人を思いやる心を育てることができる」「学力向上につながる」「保護者と学校が協力して取り組める」といったような意見が聞けるようになりました。



田中先生(左端)と図書ボランティアのみなさん



〈取材メモ〉

大島小学校では、田中先生と図書ボランティアのみなさんの取り組みにより、平成20年には13340冊だった貸し出し数が、平成22年には60337冊と、4.5倍にもなりました。個人への貸し出し数も、平成20年の19.5冊から、平成22年には87.6冊となり、子どもたちはたくさん本を読むようになりました。

尼崎市立尼崎双星高等学校 いよいよスタート!

前号で特集しました、全国トップレベルの施設・設備を誇る「尼崎双星高校」が、いよいよスタートしました。特色ある各科に見事合格された計360名のみなさんが第一期生として入学されました。

そして、尼崎産業高校より、2年生201名、3年生191名の計392名と、尼崎東高校より、2年生204名、3年生189名の計393名の先輩たちが集い、3校の合計1,145名が同じ学び舎で学校生活をおくります。

尼崎双星高校に集う生徒のみなさん、「一人ひとりが成長することによって良い学校ができます。良い学校が、一人ひとりの良い生徒を育みます」よき伝統とは、こうした繰り返しから始まります。どうかみなさんの手で、あらたな伝統の足がかりを築いてください。



Good job!!

尼崎東高校 吹奏楽部 オーボエ奏者

にしの あやか
西野 文香さん

平成22年度 日本クラシック音楽協会主催

第20回日本クラシック音楽コンクール全国大会
高校の部 木管楽器部門 最高位受賞!

14歳よりオーボエを始める。第9回、第10回
尼崎市吹奏楽連盟ソロコンテスト最優秀グラン
プリ受賞。第14回関西中学生高校生管打楽器
ソロコンテスト優秀賞受賞。

水堂小学校、南武庫之荘中学校出身。

「あまがさきっていいな」

2011 - No.39

発行日：平成23年3月25日

編集発行：尼崎市子ども情報センター協議会

編集長：有本 裕和

事務局：磯田 雅司・北澤 和代

お問合せ先：尼崎市東七松町 1-23-1

尼崎市教育委員会 社会教育担当

tel. 06-6489-6746

ご意見・ご要望は amagasaki.iina@gmail.com